

## 編集後記

菜種梅雨に濡れて、新緑のみずみずしさが一段と目にしみる季節となりました。五八年度の最終号である一〇九号をお届けします。本号は、芦刈氏・中山氏・乙咩氏の手堅い論考を中心に、中世史特集として編集しました。

いずれも本県の中世史研究の前進を示す貴重な論考です。研究ノートには甲斐氏・成田氏・橋本氏・高嶋氏の興味深い報告を得ました。

本年度もまた本県の歴史研究は本会誌を中心に数多くの研究が発表され、一段と深みを増しました。古文書（第一土曜日午後一時半）・古代中世史（第二土曜日同）・近世史（第三土曜日同）・近代史（第一土曜日午後二時）の各研究会も県立図書館での月例会を欠かさずに活発な活動が続けています。このエネルギーを新年度に向けいっそう充実したいものです。会員諸氏の積極的な参加をお願いする次第です。

（秦）

昭和五十八年三月二十五日 印刷  
昭和五十八年三月三十一日 発行

### 大分県地方史 第一〇九号

編集者 秦 政 博

発行者 渡 辺 澄 夫

印刷者 中 尾 寿 孝

別府市中央町九一五

印刷所 日の丸印刷株式会社

（電話 ②〇三四一）

発行所

〒八七〇一一 大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

（振替・下関五二九四番）